

平成 21 年 5 月 15 日現在

研究種目：基盤研究（A）  
 研究期間：2005 年～2007 年  
 課題番号：17203021  
 研究課題名（和文）太平洋地域の統合化による制度の収束と開発戦略・政策選択  
 研究課題名（英文）Institutional Convergence and Development Strategy/ Policy Choice  
 under Regional Integration in the Pacific Region

## 研究代表者

高阪 章（KOHSAKA AKIRA）  
 大阪大学・大学院国際公共政策研究科・教授  
 研究者番号：00205329

## 研究成果の概要：

本研究では、太平洋地域における地域統合化による制度の収束（共通化・標準化）が各国の開発戦略と政策選択に及ぼす影響を金融資本市場と産業構造から考察した。その結果、金融市場については制度ルールが市場構造の変化に必ずしも適応しきれていないこと、産業構造についてはピースミールな政策とビジネスチャンスに導かれて、規模においても質においても他に類を見ないほどの広く深い生産ネットワークを着実に実現していることを確認した。

## 交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2005 年度	4,900,000	1,470,000	6,370,000
2006 年度	5,300,000	1,590,000	6,890,000
2007 年度	6,000,000	1,800,000	7,800,000
年度			
年度			
総計	16,200,000	4,860,000	21,060,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済政策

キーワード：経済政策、統合化、制度収束、国際資本市場、産業発展、生産ネットワーク、金融グローバル化、通貨統合

## 1. 研究開始当初の背景

グローバル化は、WTO・IMF 体制のもとで、モノとカネの移動だけでなく、政策運営・企業統治などの基礎となる制度の共通化・標準化を促しつつある。とくに、太平洋地域では東アジアを軸に経済共同体形成が進行している。

## 2. 研究の目的

アジア経済危機を契機に太平洋地域では国際市場のリンケージの在り方が見直されている。そこで本研究では、このような地域統合化による制度の収束が各国の開発戦略と政策選択にどのような影響を及ぼすのかを考察する。

### 3. 研究の方法

国内研究会を開催するほか、内外の関連研究者・政府機関関係者との意見交換、研究動向など情報収集、資料およびデータ収集を実施する。その上で、内外の関連課題研究者を招いてワークショップを開催し、研究内容のステップアップと集約化のモメンタムとする。

### 4. 研究成果

本研究の研究成果の一部は、複数の国際的に著名な専門雑誌に掲載され、また、多数の国際的な学会・コンファレンスで報告・討議され、その論点とそれを支える実証結果は、その後の研究に引用されている。また、東アジア地域における地域統合化の効果については、拡大EU地域が国際比較の適切な比較軸を与えると考えられるところから、本研究プロジェクトは、新たに国際比較研究プロジェクト「地域統合化のスピルオーバー効果とサイクル効果：アジアと拡大EUの成長と循環」(平成20~23年度科研基盤研究S)として受け継がれている。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 13 件)

- ① Kohsaka, Akira, “A Fundamental Scope for Regional Financial Cooperation in East Asia,” Yoshinori Shimizu, ed., *Economic Dynamism of Asia in the New Millennium: From the Asian Crisis to a New Stage of Growth*, World Scientific Publishing, Singapore, 2007, Chapter 6, pp. 139-176, 査読無。
- ② 高坂 章 「東アジアのマクロ経済バランス」、『ES P』、No. 421、2007年5月号、22-27頁、査読無。
- ③ Kohsaka, Akira and Masahiro Enya, “The Balance Sheet Effects and Macroeconomic Development in the Pacific Region,” *Asian Economic Papers*, vol. 6, issue 1, Winter 2007, pp. 101-129, 査読有。
- ④ Kohsaka, Akira, Comment on Ito, “Asian Currency Crisis and the International Monetary Fund, 10 Years Later: Overview”, *Asian Economic Policy Review*, Vol. 2, Issue 1, pp. 52-53, 2007, 査読無。

- ⑤ 木村福成、「東アジアにおける FTA 網形成の現況と日本」、『問題と研究』、第36巻6号、25-44頁、2007、査読無。
- ⑥ 武田 邦宣、「EC 競争法原理の生成」、『阪大法学』、56巻6号、2007年、pp. 80-147、査読無。
- ⑦ 木村 福成、「東アジアの生産・流通ネットワーク：そのメカニズムと今後の課題」、『国際問題』、No. 533、2006年、pp. 4-12、査読無。
- ⑧ 阿部 茂行、「日本と中国とのデジタル家電での分業関係：補完か競争か」、『大阪学院大学経済論集』、第20巻・第1号、2006年、pp. 121-127、査読無。
- ⑨ Kimura, Fukunari, “International Production and Distribution Networks in East Asia: Eighteen Facts, Mechanics, and Policy Implications” *Asian Economic Policy Review*, Vol. 1, Issue 2, 2006, pp. 326-344, 査読無。
- ⑩ 木村福成・久野新・Hyun-Hoon Lee・Hyeon-seung Huh、「東アジア・環太平洋地域の経済統合の現状と日本・韓国の国際通商政策」、『三田学会雑誌』、99巻2号、2006年、pp. 5-29、査読無。
- ⑪ 深川由起子、「日韓自由貿易協定(FTA)交渉再出発への課題」、『フィナンシャルレビュー』、81号、2006年、pp. 103-124、査読無。
- ⑫ 深川由起子、「世界情勢セミナー 経済改革の社会的コスト 韓国・反日感情の構造要因」、『世界経済時報』、146号、2005年、pp. 1-19、査読無。
- ⑬ Wilson, John S., Catherine L. Mann, and Tsunehiro Otsuki, Assessing the Benefits of Trade Facilitation: A Global Perspective, *The World Economy*, Vol. 28 Issue 6, 2005, pp. 841-871 査読有。

〔学会発表〕（計 7件）

- ① Kimura, Fukunari, “Production Fragmentation and Trade Patterns in East Asia: Further Evidence.” Ninth Annual Global Development Network Conference, Research Workshop: Emerging Trends and Patterns of Trade and Investment in Asia, February 1-2, 2008, Brisbane,
- ② Kimura, Fukunari, “The Economic Relationship between Australia and Japan and the FTA Negotiation”, 15<sup>th</sup> Biennial JSAA Conference, July 1-4, 2007, Canberra, Australia.
- ③ Kimura, Fukunari, “The Mechanics of Production Networks in Southeast Asia: the Fragmentation Theory Approach.”, Workshop on Production Networks and Industrial Clusters in Integrating Southeast Asia, May 7, 2007, Singapore.
- ④ Kohsaka, Akira and Masahiro Enya, “The Balance Sheet Effects and Macroeconomic Development in the Pacific Region.”, Paper presented at the 10th Convention of the East Asian Economic Association, Beijing, November 18-19, 2006.
- ⑤ Kohsaka, Akira, “East Asian Monetary Integration Revisited,” JSPS-NRCT Core University Program Conference 2006, Emerging Developments in East Asia FTA/EPAs, Doshisha University, Kyoto, October 27-28, 2006.
- ⑥ Kohsaka, Akira and Masahiro Enya, “The Balance Sheet Effects and Macroeconomic Development in the Pacific Region.”, Paper presented at the fourth conference on WTO, China, and the Asian Economies, Beijing, June 25, 2006.
- ⑦ Kohsaka, Akira and Masahiro Enya, “The Balance Sheet Effects and Macroeconomic Development in the Pacific Region,” Paper presented at the Asian Economic Panel, Sydney, Australia, October 13-14, 2005.

〔図書〕（計 7件）

- ① Abe, Shigeyuki and Bhanupong Nidhiprabha, eds., *East Asian Economies and New Regionalism*, Kyoto University Press and Trans Pacific Press, 2008, 304 pages.
- ② Abe, Shigeyuki and Bhanupong Nidhiprabha, eds., *Emerging Developments in East Asia FTA/EPAs*, CSEAS Monograph, 2007, 392 pages.
- ③ 木村福成・石川幸一編『南進する中国とASEANへの影響』、ジェトロ（日本貿易振興機構）、2007年、215頁。
- ④ Kohsaka, Akira, ed., *Infrastructure Development in the Pacific Region*, Routledge, 2007, pp.1-318.
- ⑤ 高阪章・塩谷雅弘「アジア経済とクレジットクランチ」、小川英治・福田慎一編『国際金融システムの制度設計：通貨危機後の東アジアへの教訓』、東京大学出版会、2006年、201-222頁。
- ⑥ 高阪章「グローバル化と途上国への資本フロー」、西川潤他編『グローバル化と経済開発』、日本評論社、2006年、55-90頁。
- ⑦ 塩谷雅弘、「第II部第3章：東アジアにおける共通通貨の可能性」、大矢吉之・古賀敬太・滝田豪編『EUと東アジア共同体：二つの地域統合』、萌書房、2006年、161-176頁。

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

高阪 章 (KOHSAKA AKIRA)  
大阪大学・大学院国際公共政策研究科・教授  
研究者番号：00205329

### (2) 研究分担者

阿部 茂行 (ABE SHIGEYUKI)  
同志社大学・政策学部・教授  
研究者番号：60140076

野村 美明 (NOMURA YOSHIAKI)  
大阪大学・大学院国際公共政策研究科・教授  
研究者番号：20144420

床谷 文雄 (TOKOTANI FUMIO)  
大阪大学・大学院国際公共政策研究科・教授  
研究者番号：00155524

C. R. McKenzie (KORIN MAKKENJI)  
慶応義塾大学・経済学部・教授  
研究者番号：10220980

深川 由起子 (YUKIKO FUKAGAWA)  
早稲田大学・政治経済学術院・教授  
研究者番号：30306485

木村 福成 (KIMURA FUKUNARI)  
慶応義塾大学・経済学部・教授  
研究者番号：90265918

大槻 恒裕 (OOTSUKI TSUNEHIRO)  
大阪大学・大学院国際公共政策研究科・  
准教授  
研究者番号：40397633

武田 邦宣 (TAKEDA KUNINOBU)  
大阪大学・大学院法学研究科・准教授  
研究者番号：00305674

塩谷 雅弘 (ENYA MASAHIRO)  
大阪国際大学・法政経学部・准教授  
研究者番号：70340867

北條 雅一 (HOJO MASAKAZU)  
新潟大学・人文社会・教育系・准教授  
研究者番号：30362601

### (3) 連携研究者

( )  
研究者番号